宜野湾市西海岸地域のグランドデザインに関する検討調査事業業務委託仕様書

1 業務名

宜野湾市西海岸地域のグランドデザインに関する検討調査事業業務委託

2 目的

中部圏域の西海岸地域については、「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」（令和 4 年 5 月沖縄県）において、「世界水準のオーシャンフロント・リゾート地を形成する」とされており、宜野湾市西海岸地域もその一翼を担うものとなっている。

同地域の開発については、平成 26 年度に「宜野湾市西海岸地域開発実現化方策検討調査業務」として実現化方策が検討されてきたところであり、これ以降、第一段階のオーシャンフロント・リゾート（以下「OFR」という。）開発の核として位置づけられた、同地域内に所在する仮設避難港の開発について検討を重ねてきた。

今般、大型 MICE 事業を他地域で実施すると採択されたことに加え、西普天間住宅地区における沖縄健康医療拠点の開所、国道 58 号宜野湾道路の新規事業採択、本市における普天間飛行場跡地開発の検討の進捗「GW2050PROJECTS」における検討など、同地域の開発の前提条件が大幅に変化したことを踏まえ、改めて同地域のグランドデザインとその開発の方向性について整理することを目的とする。

3 対象区域

本業務の対象区域は、概ね本市の国道 58 号宜野湾バイパス周辺より西側の地域を中心とした地域とする。

4 履行期間

契約締結の翌日から令和 8 年 3 月 13 日までとする。

5 業務内容

- (1) 宜野湾市西海岸地域における OFR のグランドデザインの作成
- ・本市総合計画や都市計画マスタープラン等の関連計画における西海岸地域の

位置づけを整理する。

- ・沖縄健康医療拠点、普天間飛行場跡地利用計画、大山土地区画整理事業、国道 58 号宜野湾道路等の関連地域の土地利用を踏まえ、「世界水準のオーシャンフロント・リゾート地の形成を図る」ため、西海岸地域に必要な機能を整理する。

- ・浦添市、北谷町の西海岸地域との連担を意識しつつ、機能面の分担を整理する。

- ・上記の整理を踏まえた西海岸地域における目指すべきまちの姿や、その実現に向けたまちづくりの方針、取組のイメージ等を盛り込んだグランドデザインを作成する。

(2) OFR のグランドデザインに対する既存施設の評価と利用可能性

- ・既存施設（規模、耐用年数、立地場所、利用状況等）の現状の整理をする。

- ・西海岸地域における、国・県・市及び周辺市町村の既存事業と OFR のグランドデザインとの整合性を評価する。

- ・上記の評価結果を踏まえ、各事業の今後の方向性について整理する。

(3) OFR の実現に向けた各事業の課題整理とロードマップの作成

- ・(2) で整理した各事業の今後の方向性を踏まえ、実現するうえでの課題を整理する。

- ・課題解決の方策を検討し、実現までのロードマップを作成する。

(4) 有識者会議の運営支援

- ・OFR のグランドデザインについて、有識者等により構成（最大 15 名うち行政委員 7 名）される会議（計 2 回程度）に出席し、本市の指示に基づき、会議資料作成、会への出席、議事録作成等の支援を行う。

(5) 打合せ協議等

- ・業務着手時、中間時、業務完了時の計 3 回を基本として、打合せ協議を行い、その都度、受託者が書面に記録する。

6. 費用について

本委託に係る全ての経費（有識者等への謝金、旅費、会場費等）が業務請負額に含まれるものとし、業務に伴う必要な費用は、本仕様書に明記ないものであっても、原則として受注者の負担とする。

7 成果品

①業務報告書 5部

②上記データを格納した DVD-R 1枚

8 成果品に係る著作権等

（1）受託者は、業務に係る成果品、資料等の所有権及び著作権はすべての成果品の引渡し時に委託者に譲渡するものとする。

（2）受託者は、委託者の承諾を得ることなく成果品当の内容を公表してはならない。

（3）受託者は、委託者に引き渡した成果品の全てについて第三者の有する著作権等を侵害するものではないことを補償するとともに、第三者の有する著作権等を侵害した場合は、その損害を補償し、必要な措置を講じなければならない。

（4）受託者は、第三者の有する特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産を使用するときは、その使用に関する責任を負わなければならない。

9 その他

（1）業務の遂行にあたり個人情報等の漏洩、滅失又はき損の防止のために合理的と認められる範囲内で、組織的、人的、物理的及び技術的な安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。また、個人情報を取り扱う業務については、再委託できないものとする。

（2）業務の履行に当たり、各関係法令を遵守しなければならない。また、関係仕様書、指針等は最新のを適用すること。

（3）業務で作成した資料は、全て委託者に帰属するものとし、委託者の許可なく、公表、貸与又は複写してはならない。

(4) 業務に必要な書籍等で市販されているものについては、受託者の負担において備えるものとする。

(5) 受託者は、業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

(6) 受託者は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国内の法令に基づき保護される第三者の権利対象である履行方法を委託者が指定した場合、その履行方法の使用について委託者と協議しなければならない。

(7) 参加資格確認書類で示した配置予定の管理技術者及び主任担当技術者から変更をしてはならない。ただし、配置される管理技術者及び主任担当技術者が死亡、傷病、出産、育児、介護又は退職等のやむを得ない場合は、委託者と協議の上、配置技術者の変更を行うことができる。その場合の配置技術者の資格、実績は下記の通りとすること。

①配置予定管理技術者が実施要領 2-3⑩の実績を有すること。

②配置予定主任担当技術者が実施要領 2-3⑩の実績を有すること。

(8) この仕様書に定めのない事項については、その都度委託者、受託者協議の上、決定するものとする。

10 担当部署

〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号

宜野湾市 企画部 プロジェクト推進室 (宜野湾市役所 3階)

担当：島袋

TEL：098-893-4125 (直通)

e-mail:Kikaku10@city.ginowan.okinawa.jp